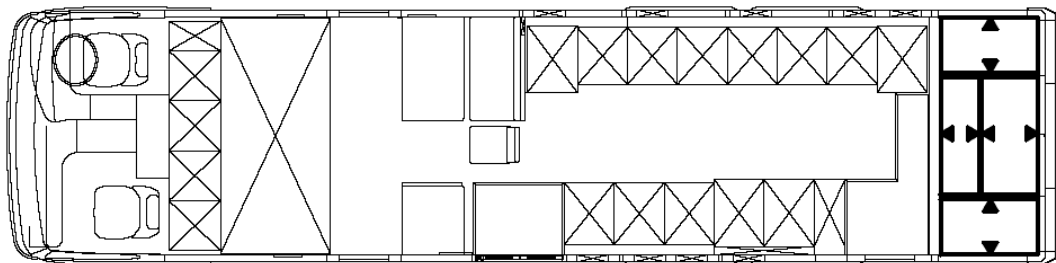


## はじめに

本マニュアルは、放送中継車を解体する際の解体手順を記載したものです。

### 概略構造の説明と注意事項

1. 本車輻は、トラックのキャブ付きシャシに鉄骨材、鋼板でバス型ボデーを架装したものです。シャシとボデーの結合は溶接構造となっていますので切断機等による解体作業となります。
2. 取り外し、解体した部品については、鉄・アルミ・ステンレス・樹脂  
ゴム類・木材・配線材等、材質別に分類し、適正な処理を行なって下さい。
3. 本車輻の発電機庫内壁は、騒音対策の為、吸音材・遮音材・制振材などが挿入されています。解体の際には必ずそれらを分離し、単独での適正な処理を行って下さい。



(吸音・遮音・制振材挿入位置)

4. 取り外したビス・ボルト類は、必ずまとめて適正な処理を行って下さい。
5. 本マニュアルは放送中継車車体の解体手順について記述したものです。架装ベースのシャシ関係部品、車輻に取り付けられている架装部品につきましてはボデーより取り外した後、各シャシメーカー、放送機器メーカー、発電機メーカー、各部品メーカーの指示により、解体・廃棄を行って下さい。

## 特種な部品、装置

品 目	メーカー（代理店）	品 目	メーカー（代理店）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送機材一式</li> <li>・発動発電機</li> <li>・ACエアコン</li> <li>・ヒーター</li> <li>・油圧ジャッキ</li> <li>・油圧ポール</li> <li>・蛍光灯</li> <li>・読書灯</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・充電器</li> <li>・インバーター</li> <li>・コンバーター</li> <li>・配電盤</li> <li>・トランス</li> <li>・側面換気扇</li> </ul>	

## 解体前処理作業

1. フロンガスの抜き取り（シャシ用とACクーラー用2組あります。）  
 新旧フロンを確認して、各専用ボンベ（容量20リットル程度）に抜き取って下さい。適宜、所定の破壊処理業者に引き渡して下さい。
2. 燃料の抜き取り  
 抜き取り装置で完全に抜き取って下さい。燃料の種類と状態を確認して下さい。自家使用又は廃油処理として各専用容器に分け、消防法を遵守し、保管して速やかに契約処理業者に引き渡して下さい。
3. バッテリーの取り外し  
 正負をショートさせないよう取り外して下さい。
4. ブレーキオイルの抜き取り  
 ブレーキオイルタンク、ブレーキホース及びパイピングよりオイルを抜き取って下さい。
5. パワーステアリングオイルの抜き取り  
 インテグラルボックス、オイルタンク及びパイピングよりオイルを抜き取って下さい。
6. LLC（不凍液）  
 ラジエータの下部とエンジンの冷却水ドレンコックより専用トレイに受け、所定の容器に保管して下さい。  
 増設ヒーターがある場合は、各ヒーターユニット及びパイピングも含め冷却水を抜き取って下さい。
7. エアバックの取り外し  
 エアバッグ処理マニュアル書に基づき、取り外し又は作動（発砲）処理をし

て下さい。作動処理の場合、大きな音を発するので、付近の環境に配慮し注意を要します。取り外したインフレーターは回収業者に引き渡して下さい。

8. 油圧用オイルの抜き取り（油圧ジャッキ、油圧ポール搭載車のみ）  
オイルタンク（20～30 リットル）及びパイピングよりオイルを抜き取って下さい。

## リサイクル・処理困難材の使用量（参考）

1. 木材	150 k g
2. 断熱材	15 k g
3. 樹脂	80 k g
4. F R P	0 k g
5. その他	0 k g

## 処理困難材の委託先情報

木材、断熱材、樹脂などの解体後処理については、「適正処理・再資源化協力事業者一覧表」（（社）日本自動車車体工業会ホームページに掲載）を参照し、適性に処理して下さい。

## 解体手順

### 1. 放送機材の取り外し

放送機材の取り外しは、必ずそれぞれの放送機器メーカーの指示に従って下さい。

### 2. 車輻に取り付けられている機器、部品の取り外し

前リストに記載されている機器、部品を取り外して下さい。(主にビス、ボルト固定してます)

・取り外し後の廃棄方法につきましては、各部品メーカーにお問い合わせの上、適正な処理を行って下さい。

### 3. 外装部品を取り外し

① 車外蛍光灯、屋上照明、走行系灯具などを取り外して下さい。(ビス固定・接着材併用)

② リヤフェンダーゴム、リヤバンパーゴムを取り外して下さい。(挟み込み、接着材固定)

③ 天幕を取り外して下さい。(ボルト固定、接着材併用)

④ フロントリット、フロントグリル、ワイパー、サイドミラーなどを取り外して下さい。

・これらはトラックシャシ部品なので、シャシメーカーの指示に従い適正な処理を行って下さい。

⑤ フロントガラス、側面ガラス、サッシ窓を取り外して下さい。

・サッシ窓はガラス部と枠部に分離して下さい。

⑥ サイドスカートリット扉を取り外して下さい。(ボルト固定)

・取手、ロックのないリットはスカート下端でボルト固定されています。スカートリットは、ロック、取手、ゴムなど素材別に分離して下さい。

⑦ 運転席扉・助手席扉・側面出入口扉・機器点検扉を取り外して下さい。

・扉は、ロック、取手、ゴム、ガラスなど素材別に分離して下さい。

⑧ 発電機庫防音扉を取り外して下さい。

・発電機庫防音扉内には防音対策の為、防音材、断熱材などが挿入されています。それらは素材別に適正な処理を行って下さい。

### 4. 内装部品を取り外し

① 運転席シート、助手席シート、その他固定シートを取り外して下さい。(ボルト固定)

② 運転室カーペット、室内カーペット、カーテン、内装クロス等を取り外し

て下さい。(ホック固定、内装クロスは接着剤固定)

・素材別に適正な処理を行って下さい。

- ③ 放送機器ラックを取り外して下さい。(ボルト固定)

機器ラックは床面と機器点検扉上面の上下2ヶ所で固定されています。

- ④ 木製操作卓、木製物入れ棚などを取り外して下さい(ボルト、ビス固定)

- ⑤ 配電盤・コンセント・スイッチボックス等電装部品を取り外して下さい。

・電装部品には、水銀等環境負荷物質が使用されている場合があります。

- ⑥ 側面内板、天井内板、間仕切り内板を取り外して下さい。(ビス固定)

・各内板は接着剤が併用されていますので、バール等を用いて剥がして下さい。またクロスが貼られていた車輻はホップリベットで固定されています。ホップリベットの頭部を6mm~8mm程度の錐で穴を開けるとリベットが外れます。

- ⑦ 内外板間、間仕切間の断熱材、吸音材等を取り外して下さい。

・素材別に適正な処理を行って下さい

- ⑧ 内外板間、間仕切内の配線材を抜き取って下さい。

- ⑨ エンジンカバー、エンジンフロア上材・ミッション点検蓋を取り外して下さい。(ビス固定)

・上記エンジン側には断熱材が貼られています。(接着材固定)

それら素材別に分離し適正な処理を行って下さい。

- ⑩ 床材(ベニヤ)を取り外して下さい。(ビス固定・接着剤併用)

・大型車等床材が二重になっている車輻があります。最上面床材(ビス固定)を外し、床下配線材を抜き取ります。配線抜き取り後最下段の床ベニヤを取り外します。

・最上面床材にアルミニウムを用いた車輻があります。それら素材別に適正な処理を行って下さい。

・上記車輻以外は、上面に接着されている塩ビ材を剥がしたあとビスを外しバール等で取り外して下さい。

## 5. ボデー外板及び鉄骨

・鉄骨材料は1.6mm~6mmの鋼材

・外板材料は0.8mm~1.2mmの鋼材及び1mm~3mmのアルミで構成されておりますのでリサイクル100%可です。